

平成 28 年度（2016 年度） 熊本県の温室効果ガス総排出量について

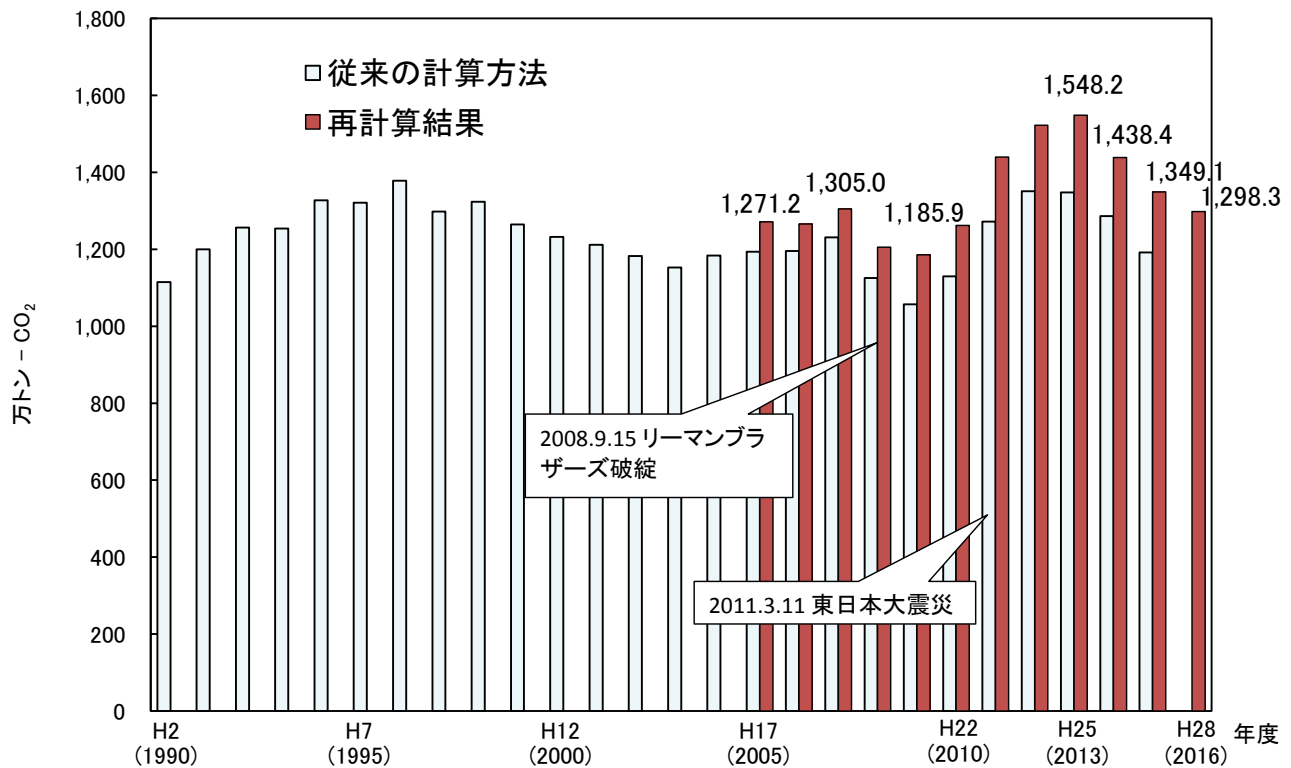
熊本県の平成 28（2016）年度温室効果ガス総排出量について、以下のとおり算定しましたのでお知らせします。

1 温室効果ガス総排出量について

熊本県の平成 28 年度（2016 年度）の総排出量は、1,298 万 3 千 t-CO₂ であり、前年度比 3.8%減、基準年度平成 25 年度（2013 年度）比 16.1%減となりました（図 1）。

これは、節電取組や、再生可能エネルギーの導入拡大等に伴う電力排出係数の低下によるものと考えられます。

図 1 温室効果ガス総排出量の推移



< 注意点 >

温室効果ガス排出量計算に用いる電力量データの変更について

平成 27 年度（2015 年度）まで、電力会社（九州電力）からの提供データを用いていましたが、より実情の傾向を反映したものとするため、平成 28 年度（2016 年度）から都道府県別エネルギー消費統計（資源エネルギー庁）のデータを用いることとし、平成 17 年度（2005 年度）以降について排出量の再計算を行っています。

2 部門別の温室効果ガス排出量について

部門別の内訳は、産業部門が3割以上を占め最も多く、次いで運輸、家庭、業務部門となっています（図2）。

また、前年度比では、産業部門が10.1%減、運輸部門が7.5%増、家庭部門が2.5%減、業務部門が8.5%減となっています（図3）。

図2 温室効果ガス排出量の部門別内訳

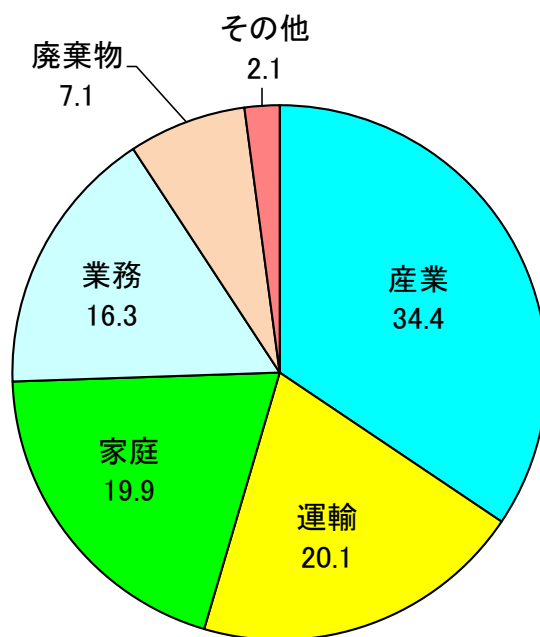


図3 部門別排出量の推移

